宮崎県PTA新聞 No.416　2022年（令和4年）11月号　年3回発行

小学校版

きずな

2022 11 November

今号の題字

宮崎市立宮崎小学校 6年
權藤 和孝さん

歴史をつなぐ「伸びる宮崎小学校」

宮崎市立宮崎小学校（牧野宏紀校長・児童392名）は、今年、創立150周年の節目の年です。現在、秋の創立記念日に向け、準備を行っています。中でも、児童が中心となって準備しているものが、みんなで踊れるダンスです。歌い継がれている「宮小よい子の歌」に、運営集会委員の児童たちが動きを考え創作したノリノリのダンスです。校内テレビ放送から流れるお手本を見ながら、教室で笑顔いっぱい踊っています。秋の運動会でも150周年記念Tシャツを着て全校児童で披露する予定です。

今年度の宮小スローガンは、「みんな仲良く笑顔いっぱい　歴史をつなぐ宮小っ子」。♪みんなよい子だ伸びる、伸びる宮崎小学校♪の歌詞のように…。

【教頭　松田 光司】

CONTENTS

❷ 宮崎県PTA連合会リーダー等研修会
❸ 日本PTA全国研究大会山形大会
❹ GIGAスクール構想
コラム「三輪車」
❺ 三行詩
宮崎県PTA研究大会日向市・東臼杵郡大会
❻ トピックス「延岡市立北浦小学校」
編集後記

宮崎県PTA連合会
ホームページ

編集・発行：宮崎県PTA連合会

発行責任者：岡本 吉弘
宮崎市旭1丁目3-10 婦人会館2階　Tel:0985(22)3081　FAX:0985(20)9443
http://www.miyazakikenpta.com　E-mail: mken-pta@io.ocn.ne.jp

宮崎県PTA連合会

リーダー等研修会

令和4年
7月2日(土)
JA AZM
ホール

令和４年度宮崎県ＰＴＡ連合会リーダー等研修会が１１２名の参加で行われました。主な参加者は、県内の各小中学校のＰＴＡ会長・副会長、ＰＴＡ連絡協議会の方々です。

玉利 勇二 氏

はじめに、文部科学省から委嘱されたコミュニティ・スクールマイスターの玉利勇二氏をお招きし、「コミュニティ・スクールにおけるＰＴＡの役割」について講演していただきました。

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域が子どもたちの豊かな成長を支え、協働し、地域と共に学校づくりを進める仕組みです。教員時代のエピソードも交えながら、現在の教育、新たな時代の学校運営にＰＴＡがどのように関わればよいか参考になるお話を伺いました。

その後、ワークショップでは４会場に分かれ、実際に「みやざき家庭教育サポートプログラム」を体験し、グループで情報交換を行いました。参加した方々は新たな気付きを得たり、大切なことを再認識したりするなど有意義な時間を過ごすことができたのではないかと思います。

参加者の声

宮崎市ＰＴＡ協議会
副会長　二見 志信

ＰＴＡ会長だからこその悩みやコロナ禍での工夫など多くの情報を共有できました。集うということが難しい世の中になりましたが、子どもたちのために、良い事例等を参考にしながら単位ＰＴＡでの活動に活かしていきたいと思います。

アンケートから

回収率 86.6%

研修会について、講演やワークショップ、情報交換会について、ほとんどの方が「よかった」と回答され、次年度以降の研修も希望されていました。コロナ禍で各学校の行事やＰＴＡ活動がなかなか行われない中、他校との意見交換会などができて貴重な時間だったとの意見が多数寄せられました。

○コミュニティ・スクールの意味がよく分からなかったが、今回の講演を聞いて大筋つかめた。また、ワークショップや情報交換会は重要だと思います。

○サポプロがもっと広がるといいなあと思います。

○他校のＰＴＡ会長さんから、状況や今後の活動についていろいろな情報が聞けて貴重な体験でした。

○各地域で様々な悩みがあり、大変だと改めて感じました。今後も子どもの安心・安全のために活動を続けたいと思います。

○良き仲間が増えました。

○すごく楽しかったです。いろいろな意見が聞けて良かったです。

○もう少しグループワークの時間を多くとってほしいと思いました。

山形大会

PTA 2022 in YAMAGATA

分科会 令和4年 8月26日(金)
山形県内10会場

全体会 令和4年 8月27日(土)
山形市総合スポーツセンター

大会スローガン

人とひとのつながりを体感しよう！
～あがらっしゃい精神の山形から～

全体会

宮崎県PTA連合会会長　岡本 吉弘

3年ぶりの現地開催となった山形大会全体会は、花笠音頭の演奏に徳内ばやし、民謡日本一に輝いた朝倉さやさんの迫力ある歌声と山形大学花笠サークルによる躍動感溢れる華麗なパフォーマンスでスタートしました。歓迎アトラクション後、山形県の歴史・文化・産業・芸術等あらゆる面に大きな影響をもたらす最上川と、数々の自然遺産と称された山形の素晴らしさが紹介されました。

講師に指揮者の飯森範親氏を迎え、幼少期に経験した面白いエピソードや両親からの社会を生き抜くための教えなど、数々のお話を伺い多くの学びがありました。

全体会の最後を占める記念演奏会は、飯森氏の内在する感情を引き出し、目では見えない糸でつなぎ合う動きと、山形交響楽団の皆さん一人ひとりが奏でる演奏が会場に響き、気持ちが穏やかになるとても素晴らしい記念講演でした。

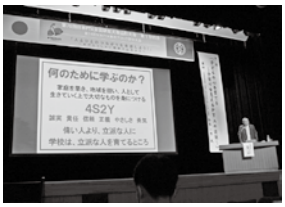
第1分科会

迷わない子育てはない！
子育ての悩みを共有できるPTA活動
～子育ての悩みを一人で抱え込まないためのPTAの役割～

延岡市PTA連絡協議会　河野 望美

第1分科会では「家庭教育」をテーマに講演と実践発表が行われました。

山形県寒河江市で眼科医をしながら読み語りボランティアなど子育て環境作りに尽力されてきた鈴木一作先生の講演では小学校時代の恩師のお話をもとに、いま、子どもたちに何を伝えるべきかをお話しされました。その中でも印象深かったのは、学校は「生きる力」を身につける場所、家庭は「あなたは価値のある人間だ」ということを教える場所、そのために「あなたは宝物だ」「あなたが大事だ」と声にして伝えなければならないというところです。



我が身を振り返ったときに「当たり前のことを当たり前に子どもたちに伝えられているのかな？」と考えさせられました。情報溢れる現代ですが、親から子どもへ大切なことは触れ合い語り合いながら伝えていくことが大切だと感じました。

特別第1分科会

「令和の日本型学校教育」を支援するPTA活動
～持続可能な社会の担い手の育成を目指して～

宮崎市立西池小学校PTA　小齊平 篤志

天童高校ダンス部による素晴らしい歓迎アトラクションで始まりました。基調講演では、「志の教育」「学び方の変革」をテーマに全国各地で教育実践活動を行う、木村貴志氏の講演でした。子どもたちが多くの失敗を経験し様々な年代と意見を交わし、多様な職業の経験者との交流を通じて学びや気付きを得て、意識や姿勢が変化し、志を立て大きく成長している様子を語っていただきました。

次は、市町村合併に伴い、大きく環境が変化することをきっかけに地域や保護者と協力して、参加しやすく次へ繋がる組織作りの構築に挑戦した白澤仁氏の実践発表でした。PTA活動から帰ってきたら「あ～学校楽しかった！」と自身のお子さんにも話をして、親の背中をみせることも大切にしていたようです。

子どもたちを取り巻く環境が変化し続けている現在、私たち保護者や教職員、学校運営の関係者も柔軟な対応や変化を求められるようになってきました。これまでの伝統や文化を踏襲しつつも、多様な形態変化をするためには、我々大人も子どもたちと共に【学ぶ】ことの質を今一度、見直す時期にきているように思います。

答えがないからこそ、人と人との交流を通じて試行錯誤を重ねていくことが大切であり、未来に繋がる人と意識の醸成を育み、先達の努力で紡いできたバトンを次世代に受け渡していく取り組みを続けていくことが大切だと、分科会を通じて考えさせられる良い機会となりました。

特別第2分科会

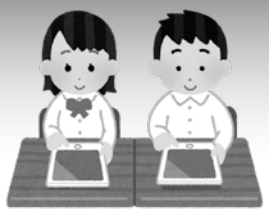
メディア・リテラシー育成における学校教育と家庭教育の役割
～子供たちへのメディア・リテラシー教育を考える～

宮崎市PTA協議会　湯淺 克一

講師の佐藤准教授は、初めに1957年の記録動画を紹介され、感想を聞くことから始められました。内容は、ウソのことを本当のように作られたもので、そのことを知らない人は信じてしまうことがあるというものでした。

「保護者も、子どもたちが持ち帰るタブレットを使ったことがない、どのような学習をしているのかを知らないで、家庭でのメディアルールを決めるのは問題です。これからは『ウィズ・メディア』として保護者も積極的にタブレットを使い、体験して、子どもたちが何を学び感じているのか、何を調べてプレゼンしているのかを知っていただきたい」と強く述べられました。また、自ら判断し、課題を立て学習し振り返り、次の課題を立てられる子どもを育てられるかが課題でもあるとも話されました。

子どもたちが今後必要な力を身につけるGIGAスクール構想は、これまでと違った発想でメディア・リテラシーの育成に取り組む必要があり、保護者も共に学んで行く必要があると感じました。



GIGAスクール構想

※ GIGA = Global and Innovation Gateway for All

文部科学省が2019年12月に打ち出したGIGAスクール構想ですが、2020年11月号の「きずな」でも現状を特集しました。その後の様子を宮崎県教育庁義務教育課鈴木指導主事に伺いました。

県内の現状はどうなっていますか？

現在の社会において、ICTの情報技術は急激な進展を遂げ、スマートフォンやタブレット端末等に見られるように、私たちの社会生活や日常生活に浸透し、子どもたちも情報を活用したり発信したりする機会が増えています。

本県の学校においても「GIGAスクール構想」の加速化に伴い、令和3年度には全ての公立小・中・義務教育学校において1人1台端末の配布、高速大容量の通信環境の整備等が実現され、ICTを活用した教育活動が始まりました。

令和4年度からは、1人1台端末の本格運用も2年目を迎え、端末等を有効的かつ効果的に活用し、子どもたちの学力向上につなげていく、いわゆる運用フェーズに進んでいるところです。

1人1台端末になってからの学校の変化はありますか？

各学校の授業においては、子どもたちの机の上にはタブレット端末が置かれ、先生の端末から子どもたちの端末へ資料等を送信したり、子どもたちが端末上に書いた自分の考えを大型TVに投影したり、子どもたち同士で共有したりと、これまで黒板やノート、ワークシートを中心にしていた授業とは違う授業が展開されております。

良かった点はありますか？

1人1台端末を活用する利点の1つに、「つながる」ことが挙げられます。

例えば、先生は全ての子どもたちの習熟度をチェックしながら授業の進度を調整したり、理解が不十分な子どもに、より重点的な指導を行ったりと「個に応じた指導」ができるようになりました。

また、子どもたち同士も、端末に自分の考えを入力し、それを大型TVやそれぞれの端末で互いに確認し合うなど、教室内を移動せずとも全員と「つながり」、意見交流ができるようになりました。

その他、これまでの環境では実現できなかった、インターネットを利用した調べ学習や、プレゼンテーションの作成・発表、遠方の学校等とのビデオ通話を通じたコミュニケーション活動の展開など、学びの幅が大きく広がっております。

課題はありますか？

一方で、学校にいる間もインターネットに接するようになることから、学校と家庭の綿密な連携のもと、子どもたちがICTを適切・安全に使いこなすことができるよう、ネットリテラシーなどの情報活用能力の育成に一層取り組むことが大切となります。また、文部科学省はタブレット端末の家庭への持ち帰りを推奨していることから、今後ますます持ち帰りが進むことが予想されます。子どもたちがいつでも、どこでも、学びたいときに学ぶことができるよう、各市町村教育委員会や学校、各家庭と連携して取り組んでまいります。

◆学校の様子◆

学校でのタブレット端末活用の現状について、宮崎市立大塚小学校・古賀正洋教頭先生に伺いました。

導入後、全学年で活用が進んでいます。主な活用方法は「画像や動画などの資料を共有する」「自分の考えを友だちや先生と共有し、交流する」「観察などの成果を記録する」「インターネットに接続して調べ学習を行う」「AI型ドリル教材を用いて、個に応じた学習を進める」などです。

高学年を中心に、タブレット端末を持ち帰る頻度が増えていて、家庭学習での活用も進んでいます。これには家庭の理解や協力がとても大きいです。インターネットへの接続や機器の取扱について、家庭でも指導をしっかりとしていただいているおかげで、持ち帰りによる機器トラブルなどはほぼ見られません。

また、スムーズな活用のために、職員による研修の実施もしています。本年度は、子どもの学びを深めるために、タブレット端末等のICT機器をどう活用するかを研修しました。「ICTカフェ」という場(時間)を設定し、若手とベテラン職員がICT機器の効果的な活用方法について互いに学び合う場を共有しています。さらに、子どもの授業場面でのICT機器の活用を支援するため、宮崎市教育情報研修センターの情報教育アドバイザー派遣制度を活用しています。

コラム 三輪車

新たなステージを迎えて

小林市立西小林中学校
教頭　松下 将大

コロナ禍における学校生活も3年目を迎えました。今まで当たり前だったことができなくなった1年目、試行錯誤を積み重ねた2年目を経て、学校現場そしてPTA活動は新たなステージを迎えつつあります。

本校は9月10日に体育大会を開催しました。さまざまな感染症対策を行っての半日の大会ではありましたが、この2年間で未曾有の体験をした生徒たちの成長は、目を見張るものがありました。規模の縮小や内容の精選も前向きに捉え、団長・副団長を中心に精一杯競技に取り組む生徒たちの姿には、私たち職員が学ぶことが多くありました。また、今までとは違う学校行事を支えようとするPTA役員をはじめ保護者の方々の協力や応援があったからこそ大会が成功したのだと思います。10月には学習発表会が行われます。ここでも、一昨年、昨年より更に成長した生徒たちの歌声や発表を期待したいです。

コロナ終息の声はまだ聞こえませんが、学校はこれからも、PTA、地域の方々とともに、生徒たちの成長を願いながら、教育活動における「挑戦」を続けていきたいと思います。

たのしい子育て全国キャンペーン　三行詩入選作品紹介

「家族で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」をテーマにした三行詩募集に、県内の小中学校より応募がありました。その中から県内審査を通過した作品15点を、日本PTA全国協議会へ推薦しました。

［小学生の部］

ぼく、あと3ねんは
おかあさんに
「だっこ！だっこ！」って
いうからね！
泊 颯太朗／夏尾小

おにいちゃん
けんかするけど
だいすきだよ。
河野 桜／夏尾小

なつのよる
ほたるが1ぴきとんできた
じいちゃんがぼくに
あいにきてくれた
いつのひもわすれないよ
ありがとう
大生 ひまる／夏尾小

いっぱいねて
いっぱいあそんで
いっぱいわらおう
日高 羽菜／狭野小

気もちをこめてありがとう
ゆう気をもってごめんなさい
ちゃんと目を見てつたえよう。
日高 鈴菜／狭野小

［中学生の部］

兄とぼく
遠く離れて過ごす日々
帰省するたび照れ隠し
岡本 征人／久峰中

夢に向かって走り出す。
これから三年
大人の階段登り出す。
大佐古 穂花／夏尾中

早寝 早起き 朝ごはん
基本だけれど母さんは
遅寝 早起き 朝ごはん
母さんいつもありがとう。
渡邊 葵／岡富中

命とは
1つしかないもの
宝物
工藤 夢姫／岡富中

参観日「来なくていい」と
言ってるわりには親探す
照れくさいけどありがたい
田丸 夏海／岡富中

［一般の部］

夕食は家族みんなで。
それぞれの今日1日の
エピソード発表会!!
川村 恵美／夏尾中

きいてきいて お母さん。
ここから始まる物語。
どんな本よりワクワクするよ。
ずっとずっときかせてね。
前畑 誓子／夏尾中

寝る前は
子供が選ぶ絵本読み
いい夢みてね
おやすみなさい
東 優子／夏尾小

私 更年期　娘と夫　反抗期
闘うステージは違うけど、
お互い健闘を祈ろうね。
小田原 亜紀／岡富中

落ち込むことがあっても
食べて寝て
「おはよう」のあいさつで
また新しい一日
田丸 寿美子／延岡市立南中

第64回宮崎県PTA研究大会

日向市・東臼杵郡大会

“協働”することの重要さを再認識し
未来ある子どもたちと一緒に学び成長しよう!!
～学校と家庭と地域が“協働”する世の中づくり～

- 日　　時 … 令和4年12月3日（土）
- 場　　所 … 日向市文化交流センター
- 研究発表 … 三股町立梶山小学校、日向市立財光寺中学校
- 講　　演　テーマ「変えましょう！変わりましょう！自分が変われば全てが変わります」
  講　師　高橋 巨典 氏

宮崎県PTA新聞コンクールのお知らせ

今年4月以降に発行した新聞（広報紙）をご応募ください。申込詳細は、きずな11月号と一緒に学校へお届けしている文書や県Pホームページでご確認ください。

【締切】令和5年1月6日（金）　【応募先】県P事務局

令和4年度国内研修事業参加募集について

日本PTA国内研修事業として、下記対象者と期間で募集いたします。選考の上、参加者を決定いたします。詳しくは、学校へ配付している文書をご覧ください。

- **事業内容　沖縄県渡嘉敷村での文化交流**
- **対 象 者　中学2年生1名**
- **実施期間　令和5年3月25日（土）～3月29日（水）4泊5日**

一人一人が自ら学び、幸動し、地域と共に成長する学校

【延岡市立北浦小学校】（甲斐 憲一校長　児童数106名）

北浦小学校は延岡市の北東部、豊かな海や山に囲まれ、漁業や林業、農業が盛んな町にあり、波の形をした屋根の校舎で、子どもたちは先生方と一緒に日々成長しています。今年度は子どもたちからあいさつ標語を募り、各学年1名ずつが選ばれ、色鮮やかな幟（のぼり）が地域の色々な場所で秋の風になびいています。この幟をきっかけにあいさつの輪がもっと広がってくれればと、校長先生もおっしゃっていました。

波の形をした屋根の校舎

幟と1～6年生の作者たち

〔ボランティア清掃で最高のバトン〕

毎朝6年生が、玄関前や校門周辺の清掃を行ってくれています。係ではなく自主的に、やらなければいけないことではなく自然に、行動しているのです。ある日それを見ていた下級生が一緒に清掃していました。このようなことが自然にリレーされバトンが繋がれていく。最高です！子どもたちの自主性を伸ばしてくださる先生方ありがとうございます。

朝の清掃ボランティア

〔地域の方との繋がり〕

学校近くの田んぼで、地域の方のご協力のもと、田植えから草取り、稲刈り、脱穀、自分たちで育てたお米を羽釜で炊いて食べるまで、1年を通して貴重な経験をさせてもらっています。学校にある各学級園では野菜を育てています。また、地元の魚さばき体験や茶摘み、梅干し作りなど、たくさんの食育をしていただいています。

みんなで米作り

〔楽しいPTA総会〕

世帯数が約70戸で、保育園から一緒の子どもたちも多いのですが、新1年生の保護者や新任の先生方にも北浦小に早く馴染んでもらえたらと思い、楽しいPTA総会にするため、「ポップにライトに」をモットーにオープニング動画をプロジェクターで流して、始まるまでの時間を楽しく待ってもらうことにしました。動画では学校HPや広報部の写真を使って前年度1年の流れを音楽に乗せて振り返り、最後に学校HPの紹介も入れました。そして総会スタート！副会長の楽しい司会進行で会場も明るく、時短しつつも要所はしっかり伝える。少人数で一人一役だからこそみんなが関わりやすいPTAを目指し、子どもたちのために一緒に楽しんでいけたら最高です。そんな大人たちの姿を見た子どもたちもきっと何かを感じ取ってくれると思います。子どもたちのおかげで出会えたご縁に感謝し、みんなで子育てして、私も未熟ですが仲間に助けてもらいながら、少しでも保護者と学校の架け橋になれればと思っています。　【PTA会長　吉田 しのぶ】

編集後記

応援しているプロ野球チームが優勝しました！感動と幸せを届けてくれた選手の皆さまに大きな声で感謝の気持ちを伝えたいです。特に、都城高校出身の山本由伸投手は昨年に引き続き大活躍でした。宮崎県民として嬉しく思います。
いよいよプロのキャンプなど盛りだくさんの秋冬到来です。宮崎在住で本当に良かったです。　平田

念願のミニ洗濯機を購入しました。子どもの部活着の泥汚れを落とすためです。二層式なので、ふたを開けて洗濯の様子を見たり、脱水をするときのガタガタと動く音など、懐かしさを感じています。毎回、ストレスがあったのですが、楽しい洗濯時間になっています。　田中

最近はSNSの情報が早く、そこから拾った事柄がニュースになるなど、ニュースそのものが二番煎じなこともよく見かけます。また、SNS等で世間の声が爆発した時は、その不満を受け、国が方針変更したのを目にしました。
私たちには権利があり、発言を世の中に反映させられる時代になったのだと実感します。小さな思いでも発信していくのは大事ですね。　西村

秋が足早に過ぎて、一雨ごとに冬の気配を感じます。12月には、小さかった姪が結婚式を挙げます。現在・過去・未来の出来事に思いをめぐらせながら、季節と時の流れを心地よく感じています。2022年も残りわずか、笑顔で年末年始を迎えられるように今日も明日も一所懸命がんばります。　田ノ上